

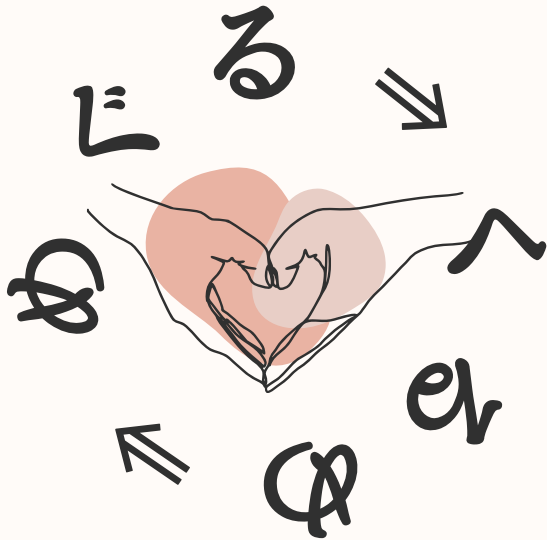
久留米市災害ボランティアセンター

「他人ごとじゃない」そんな思いが…めぐり、届く

「これまでのつながりや文化を守りたい」地域愛が…めぐり、広がる

「たくさんの人に支えてもらって前を向ける」人のぬくもりが…めぐり、支える

「私のまちも助けてもらった」恩送りのやさしさが…めぐり、つながる



より多くのボランティアの
お力が必要です
あなたの「できる」が
被災者の「生きる」につながります

7月26日（水）

個人ボランティア 倉田 莉紗子



2日前にお母さんに車で送ってもらいはじめてボランティアに参加しました。高校生一人での参加は最初は不安でしたが、その日に出会った皆さんと一緒に協力してボランティアに参加して自分にも**できることがたくさんあって感謝**されてうれしかったです。

1日目のボランティアを終えて思ったことは**もっともっとボランティアが必要**ということ。1日開けてすぐに2回目のボランティアに参加しました。

たくさんの人に災害ボランティアに参加をしてほしいです。

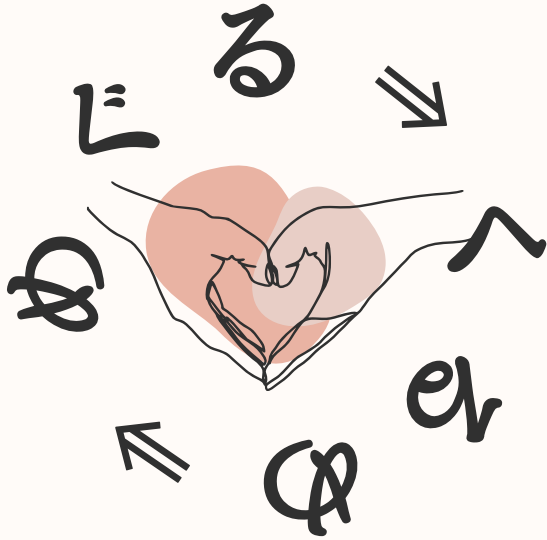
久留米市災害ボランティアセンター

「他人ごとじゃない」そんな思いが…めぐり、届く

「これまでのつながりや文化を守りたい」地域愛が…めぐり、広がる

「たくさんの人に支えてもらって前を向ける」人のぬくもりが…めぐり、支える

「私のまちも助けてもらった」恩送りのやさしさが…めぐり、つながる



より多くのボランティアの
お力が必要です
あなたの「できる」が
被災者の「生きる」につながります

7月26日（水）

個人ボランティア

川崎 貴博



久留米の災害ボランティアは今日が初めてでした。今回の災害はとても広い範囲に影響が出ていて、先日は山口の美祢に行ってきました。

久留米の被災の状況もとても深刻だと現地を見て改めて感じました。

僕一人でできることは限られているけれど、被災地に思いを届けたい人たちの力が集まることで大きな力や元気を届けることができます。

また、久留米のお力になれるようにここに帰ってきます。

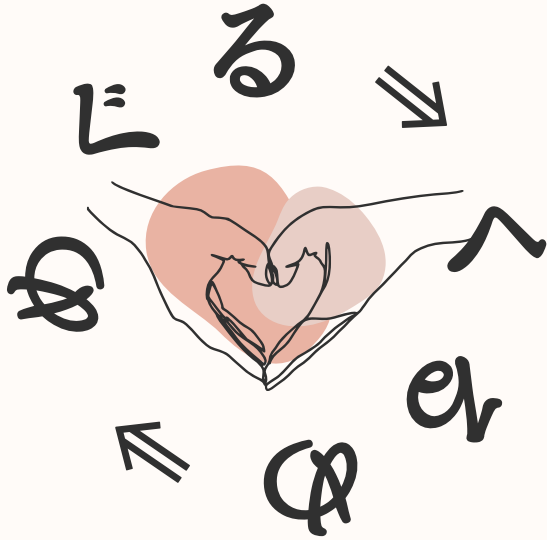
久留米市災害ボランティアセンター

「他人ごとじゃない」そんな思いが…めぐり、届く

「これまでのつながりや文化を守りたい」地域愛が…めぐり、広がる

「たくさんの人に支えてもらって前を向ける」人のぬくもりが…めぐり、支える

「私のまちも助けてもらった」恩送りのやさしさが…めぐり、つながる



より多くのボランティアの
お力が必要です
あなたの「できる」が
被災者の「生きる」につながります



久留米市災害ボランティアセンター 運営スタッフ

様々な力が集まって災害ボランティアセンターが運営されています。

現地で直接泥を運ぶ人、帰ってきた人に冷たい飲み物を出して声をかける人、体調管理に気を配る看護師さん、思いを支援物資に託して届けてくれる人、全てが大切な担い手さんです。

担う手のカタチはみんなちがってみんないい。 その手と思いをめぐらせて、被災者に届けることが久留米市災害ボランティアセンターの役割です！



久留米市災害ボランティアセンター

「他人ごとじゃない」そんな思いが…めぐり、届く

「これまでのつながりや文化を守りたい」地域愛が…めぐり、広がる

「たくさんの人に支えてもらって前を向ける」人のぬくもりが…めぐり、支える

「私のまちも助けてもらった」恩送りのやさしさが…めぐり、つながる



より多くのボランティアの
お力が必要です
あなたの「できる」が
被災者の「生きる」につながります

久留米市災害ボランティアセンター 救護班

NPO法人日本ホスピス・在宅ケア研究会

全国被災者支援ネットワーク看護師ボランティア

新路 理香

暑い中、ボランティア活動に取り組む皆さんの健康状態を見守り対応するのが災害ボランティアセンターでの看護師の役割になります。

災害ボランティアセンターのスタッフも現地で活動するボランティアもそれぞれが安心してその役割を果たせるようにフォローするためには、**まだまだ看護師さんボランティアが不足しています。**

現在は本部1名と現地を巡回する看護師1名の2名で活動していますが、**ぜひお力を貸してください。**



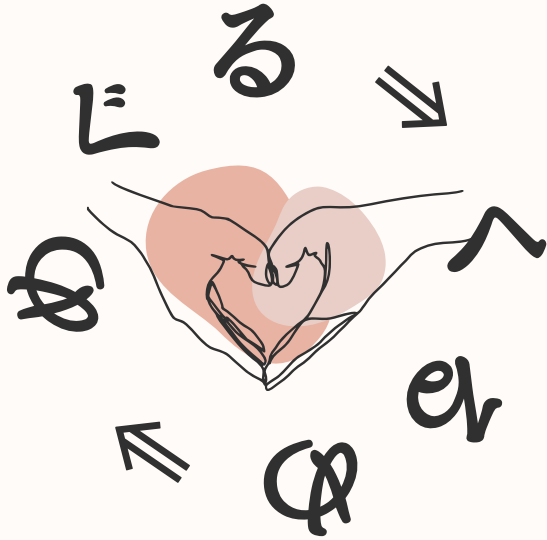
久留米市災害ボランティアセンター

「他人ごとじゃない」そんな思いが…めぐり、届く

「これまでのつながりや文化を守りたい」地域愛が…めぐり、広がる

「たくさんの人に支えてもらって前を向ける」人のぬくもりが…めぐり、支える

「私のまちも助けてもらった」恩送りのやさしさが…めぐり、つながる



より多くのボランティアの
お力が必要です
あなたの「できる」が
被災者の「生きる」につながります

個人ボランティア YCさん・Kさん

まるで昔からの友人のように互いを活動を労い合っているお二人
今日のボランティア活動で偶然一緒になったそうです。おしゃべりをしていくうちに
共通の友人がいることを知りとても驚いたそうです。

気持ちが通った二人のメッセージは、「もっともっとボランティアが必要」「動けば動く
ほどまちや被災者の暮らしが変わってくる」というものでした。

突然やってきた大きな災害...でもそれに立ち向かう被災者とボランティアとの出会いはき
っと、これからの暮らしを支える財産になっていくはず！

